

# 第3学年4組 社会科学習指導案

場所 3年4組教室 指導者 内田 裕斗

## 1 単元 本当に持続可能だろうか？新香山を走る川向線

(7時間完了 本時6/7)

### 2 目標

- (1) 学区を走るバス路線に目を向け、公共交通が抱える課題を見付けようとする。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) バス利用者である住民の思いだけでなく、企業、行政のそれぞれの視点から、課題を多面的・多角的に捉え、解決策を考えることができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 自分の考えをインタビューや自ら収集した資料を基に述べるができる。  
(資料活用の技能)
- (4) 利用者、企業、行政のそれぞれの立場から、バス路線の維持について考える必要性を理解することができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

### 3 「ESD新香山プラン」のキーワードアプローチ

S	自分自身と自分の住む地域にある課題とのつながりを意識する。	相互性
H	利用者の立場で抱える課題を実感し、企業や行政の大切さを実感する。	多様性
I	バス路線の維持に携わる課題の背景には高齢化による社会の変化があり、地域の生活を維持していくことの難しさを実感する。	有限性
N	利用者としてバス路線の必要性和、企業として維持していくことの難しさを実感する。	公平性
C	地域社会の生活向上には、主権者としての意識を高めて社会参画し、その責任を実感する。	責任性
A	地域の生活向上について話し合う中で、住民、企業、行政が連携して取り組む必要があることを認識し、行動化の意欲を高める。	連携性

### 4 単元の構想

「そんなのどっちでもいいじゃないか！」本校では、朝の時間帯に、15分間のMDT（ミニディスカッションタイム）の時間を設けている。この時間は、自分の考えを積極的に発言する生徒の育成を目指し、5年以上継続して行われてきた。1学期に行ったMDTでは、出された課題に対して、こんな投げやりな言葉を発しているのを耳にした。学級全体の様子を見ても、子供たちの表情は、全く生き生きとしていなかった。これは、内容を自分事としてとらえることができず、興味をもてなかったからだと考える。そこで、自分の考え方に自信をもち、話し合いに生き生きと参加する姿や、友達の意見を共感的に理解しながら、解決に向かおうとする姿を引き出したいという思いを強くもった。

これまで、公民の学習では「グローバル化・情報化・少子高齢化」という今日的な課題をとらえ、「持続可能な社会」を実現するために、解決に向けて社会参画することの必要性を学んできた。本単元では、学区を走る名鉄バス路線「川向線」に焦点を当てて単元を構成している。「川向線」は、東岡崎を出発して岡崎市と豊田市の境になる岡崎市川向町へと走るバス路線である。この路線は、平成19年の路線バスに対する規制緩和の際に、名鉄バスが赤字路線として、廃止の申し出をした。申し出に対して、岡崎市が補助金を出して、維持している路線である。この路線を教材として取り上げることで、多面的・多角的な視点から課題を捉え、地方自治の学びを深めると考えた。

地方自治の学習において、生徒がより主体的に問題を解決しようとするためには、その問題に携わる人の思いや考えを知ることが必要と考える。そこで、まず公共交通機関が市民に果たしている役割を理解させていく。また、「川向線」に乗車する体験をして、どのような人が利用しているのかを把握させたい。さらに、川向地区で生活する人々の様子を知るために、現場に訪れて調査させる。

利用者の実態を把握したうえで、バス会社からの聞き取り調査をして、企業からの取り組みに目を向けさせたい。

ここからは「市からの補助」という側面に着目させ、行政が果たしている役割について考えさせ、地域や利用者への配慮とともに、生活を守るための税の役割にも気付かせたい。

これらの学習から、地域住民の一人として主権者の意識を高め、社会参画しようとする姿を期待したい。

## 5 単元計画（7時間完了）

学習課題	学習内容	時数
新香山住民の足はバス？公共交通について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>新香山住民にとって、多く利用されている公共交通は何か考える。</li> <li>一番儲かっているバス路線について、予想を立て、その理由を発表する。</li> <li>結果から、バスの利用者層と利用目的について考える。</li> </ul>	1
川向行きのバス利用者について調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>新香山学区を走るバス路線の本数がどれぐらいか予想を立て、調べる。</li> <li>このバスを必要とする人の年齢層と利用目的について調べる。</li> <li>1日に2本だけでは、困ることはないか考える。</li> </ul>	2
バス会社の考えについて調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の路線のバスと比較して、車両の違いはないか考える。</li> <li>なぜ、少ない乗車密度でも運営できているのか考える。</li> </ul>	1
路線バス維持にどのような行政が携わっているか調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤字路線が廃線にならず、維持されているのはなぜか予想を立てる。</li> <li>地域住民のために、行政が果たす役割について考える。</li> </ul>	1
徹底討論！川向線は存続されるべきか？廃止されるべきか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・バス会社・行政の視点から、川向線に対してどのような考えがあるか整理する。</li> <li>これまで調べてきたことをもとに、立場を明確にして、存続か・廃止か話し合いをする。</li> </ul>	1 (本時)
私たちの考えを岡崎市に提言しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学級で考えてきたことをもとに、バス路線の維持に関する考えをまとめる。</li> <li>岡崎市へ、私たちの考え方を提言する。</li> </ul>	1

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

- ① テーマについて自分事として捉え、積極的に考えを発表しようとする。

(関心・意欲・態度)

- ② バス路線が維持されている理由について、調査したことを基に根拠をもって多面的・多角的に考えることができる。

(思考・判断・表現)

### (2) 準備

- ①生徒 教科書，ノート，教師自作資料集，タブレット端末

- ②教師 ネームマグネット，座席表，教材提示装置，大型ディスプレイ

(3) ESD新香山プラン

視 点	つながり			活 動	手 立 て
	教材	人	勘・観		
H 多様性	○		◎	3	問題を多面的・多角的な視点からとらえられるよう，分かりやすい板書にする。
C 責任性		◎	◎	4	より快適な生活の実現をするために，主権者として自分がすべきことはどんなことがあるか考える場を設定する。
A 連携性		◎	▲	5	利用者，企業，行政のそれぞれの立場で連携していくことの必要性に気付くような切り返しの発問をする。

(4) 展 開

段階	生 徒 の 活 動	教 師 の 活 動
導入 (5)	<p>1 利用者，バス会社，行政について調べてきたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のおばあさんは，通院のために週2回必ず利用していると言っていた。</li> <li>・バス会社は，市の補助があるから運行できていると言っていた。</li> <li>・行政は，利用者の希望があれば，継続して補助していくと言っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習で，現在までバス路線を維持するために必要であった事柄を，視点が明確になるよう板書する。</li> <li>・利用者や担当者の願いと事実が混同しないよう，確認する。</li> <li>・これまでの学びや経験を，大型ディスプレイに写真を映しながら確認する。</li> <li>・前回までの話し合いでの存続派と廃止派の意見を確認する。</li> </ul>
把握 (2)	<p>2 本時の課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を板書する。</li> </ul>
	<p><b>徹底討論！川向線は存続されるべきか？廃止されるべきか？</b></p>	
展開 (35)	<p>3 川向線は存続されるべきか廃止されるべきか根拠を明らかにしながら話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【存続派】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも利用を希望する人がいるなら存続すべき</li> <li>・廃線にしてしまったら，戻すことは困難だから</li> <li>・他の路線も廃線に追い込まれることになるから</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【廃止派】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が少ないのならば，他の交通手段を提供してあげればよい</li> <li>・少ない人数に対して，多額の税金が使われているのは検討する必要があると思う</li> <li>・他の市町村のようなコミュニティーバスに転換したらいいと思う</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べてきたことをもとに，川向線は存続されるべきか廃止されるべきか」と発問する。</li> <li>・<b>利用者，企業，行政のどの視点から考えたかわかるように板書をする。(H 多様性)</b></li> <li>・自分の立場をはっきりさせて意見を述べるよう助言する。また，本時の話し合いで考え方が変わってもよいことを知らせる。</li> <li>・調べてきた事実や表，グラフなどに基づいた自分の考えを発表した生徒を称賛する。また，全体に提示できる資料の場合は，教材提示装置かタブレット端末を使って，大型ディスプレイに映しながら発表するように助言する。</li> <li>・バス路線について考えるうえで，大切な視点として，「地方自治」と「地方財政」があることを押さえる。</li> <li>・<b>「困る」というキーワードが出てきたところで，チョークの色を変えて板書し，そのために行政や住民が果たさなければいけない役割について考えるよう補助発問をする。(C 責任性)</b></li> </ul>
	<p>4 どちらの考え方も生かしながらよりよい選択をするため，どうしたらよいか考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の無駄にならないように，どれぐらい利用しているのか継続して調べていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どちらの考え方も生かしながらより良い選択をするために，どうしたらいいだろうか」と発問する。</li> <li>・すべての意見を，受容するが，あいまいな点は，聞きかえして適切に修正する。</li> <li>・住民としてできる事が出てきたところで，北</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者がより便利で、税金の負担が少なくなるなら、タクシーに変えるという考え方もあるかもしれない。</li> </ul>	<p>斗台地区では、廃線を食い止めるために、バス利用を促進する事業が行われていることを紹介する。</p>
<p>整理 (8)</p>	<p>5 本時を振り返って思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民からの視点だけでなく、企業や行政の立場を考えたように、一方的な視点でなく色々な視点から考えることで、問題の本質が見えてくるとわかった。</li> <li>・身近なバスでも、これだけ多くのことが考えられているのだから、他の施設や公共物についても調べてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>よりよい生活のために、住民や行政、企業が連携していく姿勢が大切だという内容の感想を書いた生徒を意図的に指名する。(A 連携性)</u></li> <li>・本時の学習によって、次時に向けて興味の広がりや関心の高まりがみられる感想を書いた生徒を称賛する。</li> <li>・友達の意見を聞き、関わって意見を述べたり、自分の考えを深めたりした姿をとらえて称賛する。</li> </ul>

(5) 評価

- ① これまで調べてきたことを基に自分の考えを述べることができたか。(活動3から)
- ② 行政や企業の取り組みに関心を持ち、社会参画していくことの必要性に気付くことができたか。(活動4から)